

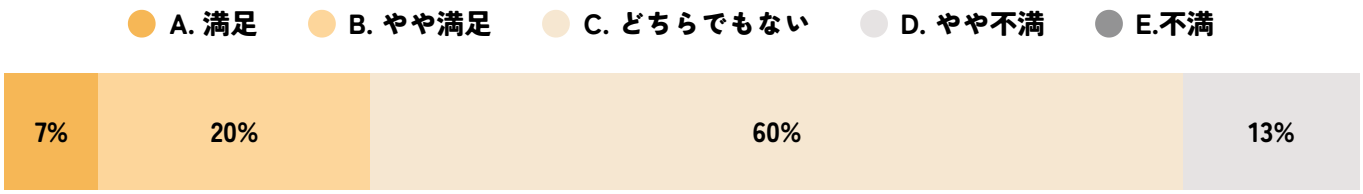
ふりかえりシート結果

南阿佐ケ谷地域　第２回
（仮称）デザイン会議　全体会

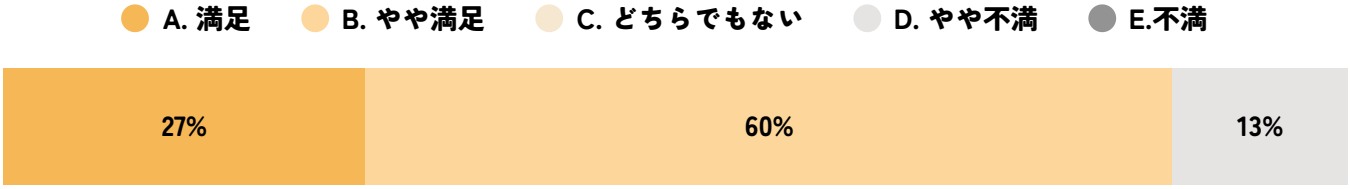
（参加者数　21名　　回答数　15名）



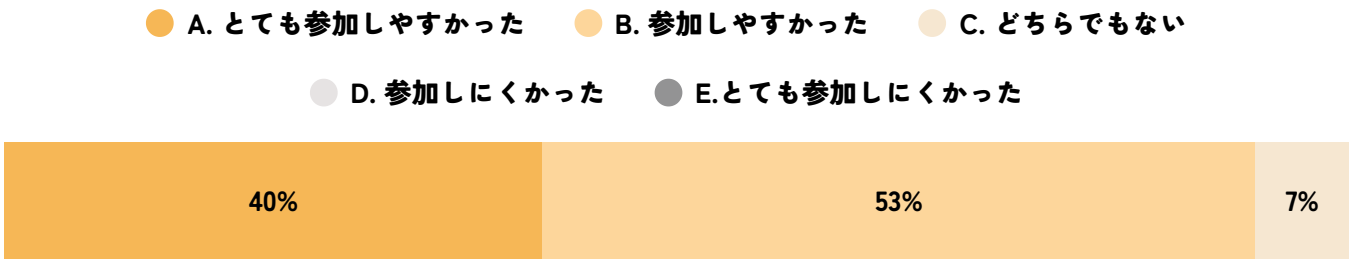
1 区からの説明について、満足いただけましたか？



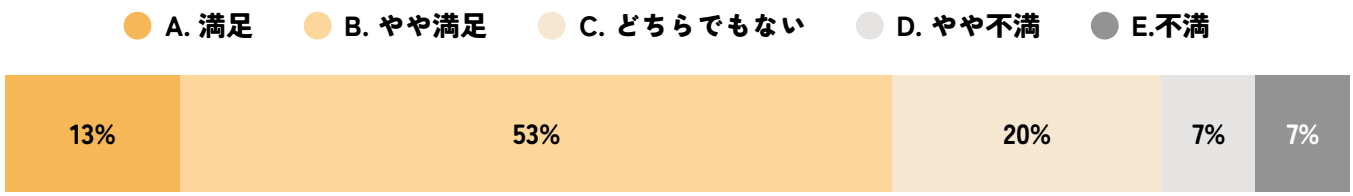
2 グループでの話し合いについて、満足いただけましたか?



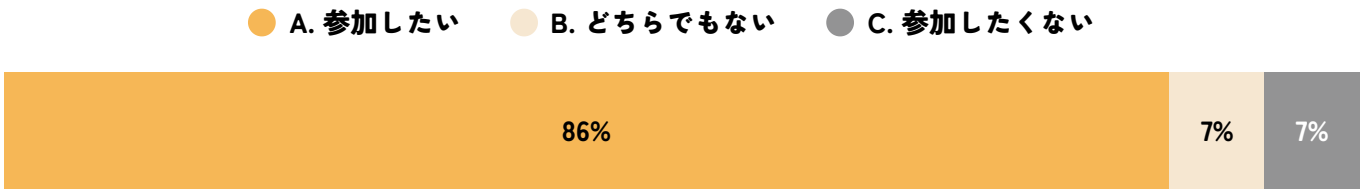
3 今回の開催日時は参加しやすいものでしたか?



4 今回の会議全体について、満足いただけましたか?



5 今後開催するデザイン会議に参加したいと思いますか?



6 今日の話し合いで良かったことや、気づいたことをお書きください。

- 本日の会議に参加できなかった（選ばれなかった人）のことが気になる。→なにかの形で、一緒に参加できないですかね？
- 良い雰囲気での話合いだった。
- 皆さんがつながりやコミュニティを求めていることがわかった。緑と賑わいのあるウェルネスにつながるパークを隣接して頂きたいと思います。住民の行動範囲が広がり前向きに交流しながらまちづくりができればと思います。
- いろんな立場での意見を出し合うことで新たなアイデアが出たりしたのがおもしろかったです。
- 原則的に皆との意見は一致していることは素敵だと思う。また、区から区民との話し合いはもうちょっとやってほしい。
- 133号線の必要性に疑問を持っている人が多いと感じた。
- 133号線について、とり上げる角度を変えたことで賛否に終始する事態を回避できたように思う。
  議題によっては、133号線がある場合と無い場合のダブルの検討を求める。
- 参加したグループがたまたま同じ考え(133号線は必要ないという)の人たちだったので、それぞれの考えを共有･共感できました。
- 進行役の司会について、参加された方々によく配慮されていたと感じました。説明が丁寧で、また速さ、間や、声色、そして表情。特に、制止の場面でのコメントが相手の気持ちに配慮した表現でとても良かったです。
- 各テーブルについた委託事業者さんについて、グランドルールや、議事進行予定に沿いながら、うまく仕切ってくださいました。
- 参加者について、みなさん街づくりについてそれぞれの視点からご参加されていた事がよくわかりました。
- 自分は高円寺デザイン会議からの参加で、大変に勉強になりました。
- 仮称デザイン会議の成果が、都市計画変更案の上位計画やマスタープランに反映させる予定であるならば、区から説明するべきです。落ち着いて話しが出来たのは良かったです。
- 地域に住んでいる方の率直な意見を聞けて、大変勉強になりました。タイミングがよければまた参加したいと思います
- それぞれ参加者の立場がことなるのでこういう考えがあるんだなと気づきが得られました。
  またこういった行政の施策について自分ごととして知り、考える機会がもてだことがよかったです。
- 参加の方々が良い意見をお持ちで勉強になります。面白かったです。様々な意見を聞けて視野が広がりました。

7 会議の進め方について、ご意見やご感想をお書きください。

- 時間が足りない。
- 進行はスムーズで、ありがとうございました。
- 説明部が長い。議論を長くしてほしい。
- グループワークの進め方が良いと思う中、限定されている形式でもの足りないと思ってしまう。
- 司会のファシリテーターの説明がくどくて長い。グループの話し合いの時間がもっと必要だった。全体時間の半分以上が、司会者の話だったような感じがするくらいくどい。
- 時間が足りなかった。司会の説明が長かった。133号道路整備ありきでは、デザイン会議には参加したくない。
- （１）時間が足らな過ぎた。（ファシリテーターの司会の話が長かった、程度ではない）倍程度の時間を使って十分に話し合うべきであった。
  （２）そのために、全グループ共通の１３３号線関連と４つのカテゴリーに分けて、前者は全グループ共通、後者は各グループが分担してとの意図が、その通り展開し切れなかった。
  （３）せっかく前回までの思いがまとめられていたのだから、より詰めるべく、予め参加者に届けて、読ませた上で、それに基づいた予備検討をざっとでもさせることで、積み上げ効果が期待できた。特に初参加者には、他人の発案であろうとそれを知ることで、ゼロからでない、参加状況が確保できたハズ。あるいは、会の中で、発表の前に１５分でも各自で、そのまとめを読み検討し、自分なりの発表案を考え、記入する時間が確保できればよかった。(もちろん時間不足)
  （４）１３３号線については、今回のグループからの発表限りでなく、全体での議論に展開できる状況が確保できたが、やる時間が無かった。
- グループを選ぶ時にテーマを選びにくく、全体というグループがあって良かったです。
- 事前の班分け、議事進行やワーク内容と時間の配分、グランドルールの説明をキチンとされた上で、参加者の皆さんに均等に発言してもらいながら、最後まで纏まりましたこと、素晴らしいと思いました。設定したゴールに参加者の気持ちや熱意が反映されて実りある会議となりました。そう、思いました。
- 事務局説明が45分、うち事業内容にかかるものは５分程度で司会者の話が延々と続き、質問は１人１分、発表１グループ３分、討論なしというのは、時間配分に違和感を覚えます。もう少し参加者に時間を与えるべきではないでしょうか。
- 委託事業者さんが説明、進行される一方、区役所の方の出番はほとんどありませんでした。このままでは若い皆さんが人前で話のできない職員さんになってしまうのではと心配です（区民としては職員の人が説明が分かりやすくて質問にも答えてくれる、というところを期待しているのです。内容には限界があると思うので）。そのままベテランになって給料だけ上がっていくというのは勘弁してほしいです。説明能力は場数を踏むことが全てで、これを委託事業者に任せてしまうと人材育成が進みません。委託自体は否定しませんが、職員の方の出番を増やした方がいいと思います。

7 会議の進め方について、ご意見やご感想をお書きください。（つづき）

- コンサルの介入が酷くて不快でした。特にグループワークのボードのテーマ部に、「133号線による変化」と記されている所に、コンサルが勝手に「期待」と書き加えた事に怒りを覚えました。グループワークで半数程は交通量の増加による不安が出ていたのに、恣意的に肯定的な意見を出させるように誘導する意図があったのではないでしょうか?この行為は区の職員の目の前で行われましたが、区の職員が注意しなかったのもおかしいと思います。
  後でこの件についてコンサルから謝罪がありましたが、帰りに会場を出た誰もいないところを狙って謝罪しに来るのも不適切です。区民を小馬鹿にしているのではないでしょうか?
  また、司会の方が10分も時間超過して説明をされていましたが、それは誰も咎めずに、出席者の僅かな時間超過は注意されると言う進行手法にも納得行きません。おかげ様でグループワークの時間が、コンサルの所為で削られてしまいました。
  私は、仕事で得た収入から区民税と固定資産税などを支払い、デザイン会議の申し込みをして抽選の結果、休日に出席しているのに、主催者側が勝手に都合良く進行しているように見受けられました。以上の理由により、今回の会議は不適切に行われたと認め、このような運営手法は、区民の貴重な時間と労力を無駄にするものであると抗議させていただきます。
- 初めて参加しましたが、目的や振り返りなどあって話が入りやすかったです。
- ①区民は抽選で選ばれており、この会議に臨む際に知っている情報、理解度はそれぞれ異なると思います。
  議論するにあたり最低限必要な情報は会議の最初に共有すべきです。今回の説明はその点においては不充分であったと思います。
  ・何故都が優先して132号線を整備することを決定したか？
  ・132号線をどのように整備するのか？
  ・132号線の整備までのプロセス、期間
  時間が少ない中、やりくりするのは大変かと思いますが、それがないと平等な意見を述べる場になりません。
- ②この会議で何を議論したいのか？
  論点が明確でないまま意見を集めても、集まった意見が今後の計画にどのように反映されるのかが不透明になってしまいます。
  まずは、今回のワークショップで何を議論し、何を決めたいのかを明確にすることが重要です。
  また、整備方針のうち、変更できる部分と変更できない部分がわからなければ、参加者もどこに対して意見を出せばよいのか、行政側も何について意見を求めているのかがわかりません。
  議論の論点と意見を反映できる範囲を明確にすることで、参加者が具体的な意見を出しやすくなり、意見を計画に反映するプロセスも透明になるのではないでしょうか。

8 話し合いで言い足りなかったことがあれば、お書きください。

- ・都の事業化の最新状況を知りたい。 ・この会議が、都の言いわけ（地元民の意見を聞いた。）に利用されないようお願いしたい。 ・土曜出勤おつかれ様。
- 共創の視点。官民連携でのウェルビーイングな沿線づくりも話合いたかった。
- 他のグループの方とも話したかった。
- 決まりことについて、決まった時点で区のホームページにのせてほしい。
- （仮称）という名称はいつまでつけているのですか？
- そろそろ、グループが発表しっぱなしのものを、参加者全員で議論して、練り上げて、より課題は課題らしく、目指すべき個々の目標は目標らしく、誤解・勘違いは正して、まとめる段階へ進めるべきではないか。それが、次のデザイン会議の材料になって行く。
  さらには、住民と区役所の職員との「対話」、最も求められる対話を通して、考え方や意見の一致や不一致が見えるようになる、という「対話」の次のステップが見えてくるのではないのか。これがまったくできてないことを問題視して欲しい。住民同士の対話（話し合い）は二の次であって、本命は区（区長／職員）と住民との対話ですよ。
- 第二回デザイン会議から離れますが、次の講演会を求めます。成田在住の学者（建築史家）である陣内秀信さんの講演をお願いしたい。（広報すぎなみ 令和4年(2022年)5/15No.2329すぎなみビト掲載）。「すぎなみ」らしいまちづくり、「開発第一でない」、道路に頼らないまちづくり、などの観点からの話が聞けるはずですので、ぜひお願いしたい。
  南阿佐ヶ谷に限らず、全杉並で聞くべき講演の位置づけでお願いしたし。
- 成田東の緑が以前より減ってきているのは確かであると思う。しかしそれは、古くからある大きな家が壊されるときに木々が切られ、その後には庭のほとんどない小さな家が何軒も建ったり、アパート･マンションが建つことによるところが大きいと思う。木々が沢山植わっていたり区の保護生け垣に指定されている地権者の家や成田東3丁目の史跡馬頭観音を壊して道路を作ることは、さらに緑が減ることになり、道路脇に街路樹を植えればよいというものではないと思う。
- 沿道地権者でかつ住民で参加されている方々は一様に生活環境の変化を不安に感じているようです。何よりも拡幅後に残地では住めない方はどうしたら良いのか分からないと、お話し伺いました。
- 都市計画道路補助第133号線は、全線が整備されて初めて交通導線が改善され経済効果をもたらすものであり、今回のような成田東地区を先行する部分整備案では、成田東地区に長期間に渡り、精神面、環境面、安全面で苦痛と危険をもたらす計画であると認識しています。成田西地区、浜田山地区は何時から整備するのか？区が明示できないなら反対します。

